

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	様々な機会を通じて、地域住民との交流を図っているが、その度に認知症についての理解不足や、誤った認識を実感している。参加交流を図った事で分かった事であり、継続的に地域とのつながりを通して発信しながら、正しい認識を共有できるよう改善していく必要がある。	その方らしくいきいきとした生活を送れるように、地域とのつながりを持ちながら、参加交流の機会を活用し、認知症があっても地域住民の一員として正しい理解のもと安心して暮らしていける。	地域住民との行事や交流等を積極的に活用する中で、相互の関係性を構成していき、認知症に対しての正しい認識や取り組みの内容等の理解を図っていく。①運営推進会議の活用②町内会行事への積極的な参加③認知症を正しく理解する為の啓蒙・普及(認知症サポーター講座や苑内での行事参加等)	12か月
2	35	緊急時・災害時対応マニュアルがあり、年2回の防災教育(内部研修)及び防災訓練(通報・避難・消火)、年1回の呼集訓練を実施しているものの、火災以外の災害を想定した訓練の実施はない為、非常時に行動出来るか不安に思っている職員もいる。地域住民の協力のもと防災連絡協議会を設立し備えているが、役割のないその他の周辺住民への浸透は不十分と思われる。	定期的に訓練を実施しながら、火災だけでなく、地震、水害、冬期避難等において昼夜を問うことなく、お客様が避難できる方法を全職員が確実に身につけるとともに、地域住民との協力体制を継続していく。	①様々な場面(火災、地震、水害、冬期避難等)を想定した訓練の計画及び実施。実施については、防災管理者からの助言をもとに防災係が主体となって行う。②訓練実施後にアンケートを行い、意見や不安等を抽出にて振り返り活用していく。変更点があった場合は、周知徹底を確実にを行う。(朝・夕の申し送り時や会議報告)③運営推進会議にて訓練実施状況を報告し、評価して頂く。その上で参加者の協力を得て啓発し、地域住民への協力体制を継続していく。	12か月
3					か月
4					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。